

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報を厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 腎臓内科 孫 楽

【研究責任者】

聖路加国際病院 腎臓内科 孫 楽

造影剤腎症予防外来受診後の腎臓内科通院に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2017年3月に当院外来で造影CTの検査を行い、造影剤腎症予防外来を受診した方

2. 研究の目的・方法

造影剤は腎臓に負担がかかることがある薬剤であり、慢性的に腎機能の低下を認める方では、造影CTの前後に予防の輸液投与が推奨されております。当院でも造影剤腎症予防外来を施行しております。

造影剤腎症外来予防を受診される方は慢性的に腎機能の低下を認めている方がほとんどですが、全員が当院の腎臓内科に通院しているわけではありません。本研究は造影剤腎症外来の受診をきっかけに当院腎臓内科に通院するようになった方とそうでない方の特徴とその後の経過を比較するための研究です。

なお、この研究では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

カルテ番号、年齢、性別、病歴、血液検査・尿検査の検査値、造影CTの検査結果、その後の治療内容等